

第2章 現状の整理

1. 大和市の特性

(1) 保険者の特性

大和市は、昭和34年2月1日に神奈川県下14番目の市として市制を施行しました。

神奈川県のほぼ中央に位置し、横浜、相模原、藤沢、海老名、座間、綾瀬、東京都町田の7市に隣接しています。市域は南北に細長く、丘陵起伏がほとんどありません。都心から40～50 km、横浜からは20km圏内にあり、3つの鉄道が東西南北に走り、東京へ1時間弱、横浜へ20分ほどで行くことができます。

また、道路網も国道16号線、246号線及び467号線のほか県道4線が縦横に走り、東名高速道路横浜町田インターチェンジ、綾瀬スマートインターチェンジに近接し、交通の利便性に恵まれています。

これらの要素により、大和市はベッドタウンとして、高度経済成長期には急激に人口が増加し、発展してきました。

【図表2-1】大和市の概況



2. 人口・被保険者数

(1)大和市の人口・国保被保険者数

- ・ 人口に対する国保被保険者数は46,966人で全体の19.24%、男女比は女性が2.82ポイント多くなっています。
- ・ 性・年齢階層別では、10代から50代では男性の被保険者数が多い傾向ですが、60代と70代では女性の被保険者数が多くなっています。

【図表2-2】 人口に対する国保被保険者数(令和4年9月末現在)

	全体(人)	割合(%)	男性(人)	割合(%)	女性(人)	割合(%)
人口	244,034		121,924	49.96	122,110	50.04
国保被保険者	46,966	19.24	22,823	48.59	24,143	51.41

資料:大和市住民基本台帳及び大和市民民経済部保険年金課資料「年齢別男女別被保険者数調」

【図表2-3】 性・年齢階層別の人口及び国保被保険者数

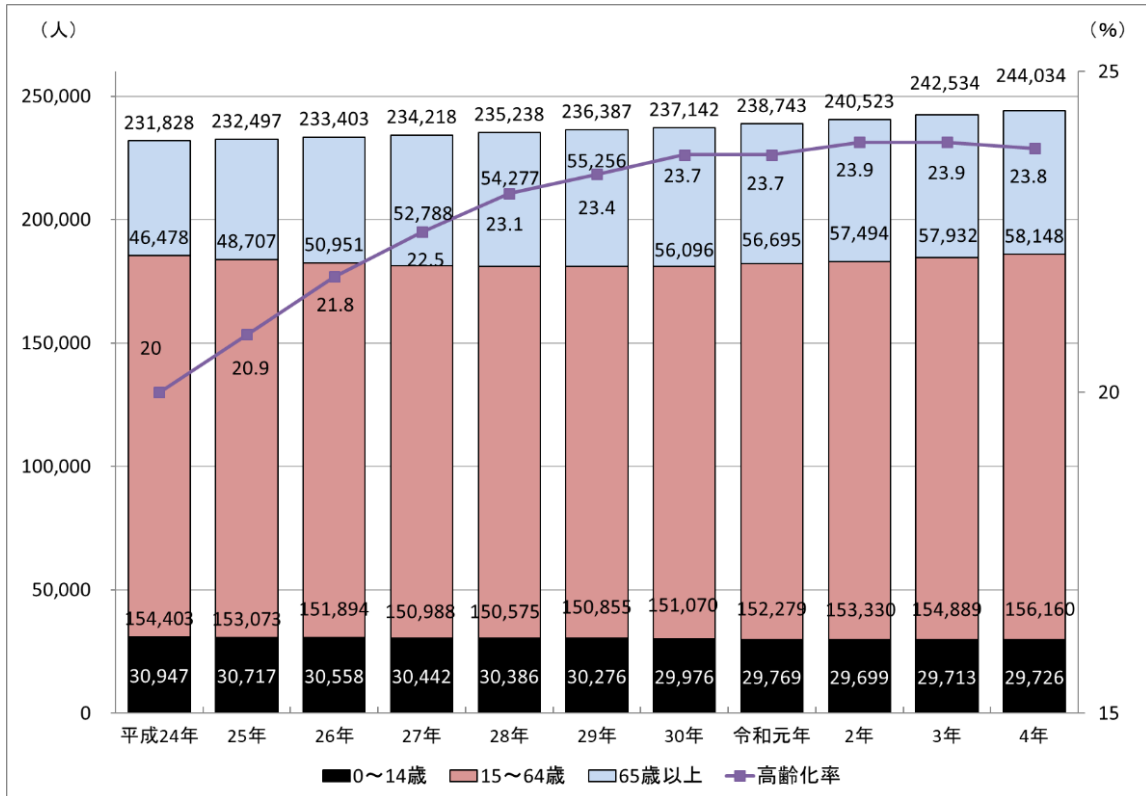
	人口(人)		国保被保険者数(人)	
	男性	女性	男性	女性
0~9歳	9,882	9,617	947	986
10代	10,446	9,911	1,261	1,148
20代	14,071	13,750	2,024	1,976
30代	15,854	14,603	2,171	2,060
40代	19,221	17,631	3,017	2,589
50代	19,616	17,979	3,449	3,222
60代	12,828	12,237	4,952	5,775
70代	12,499	14,996	5,002	6,387
80代	6,676	9,257		
90代	820	2,046		
100歳以上	11	83		
合計	121,924	122,110	22,823	24,143

資料:大和市住民基本台帳及び大和市民民経済部保険年金課資料「年齢別男女別被保険者数調」

(2)大和市の高齢化率・被保険者の状況

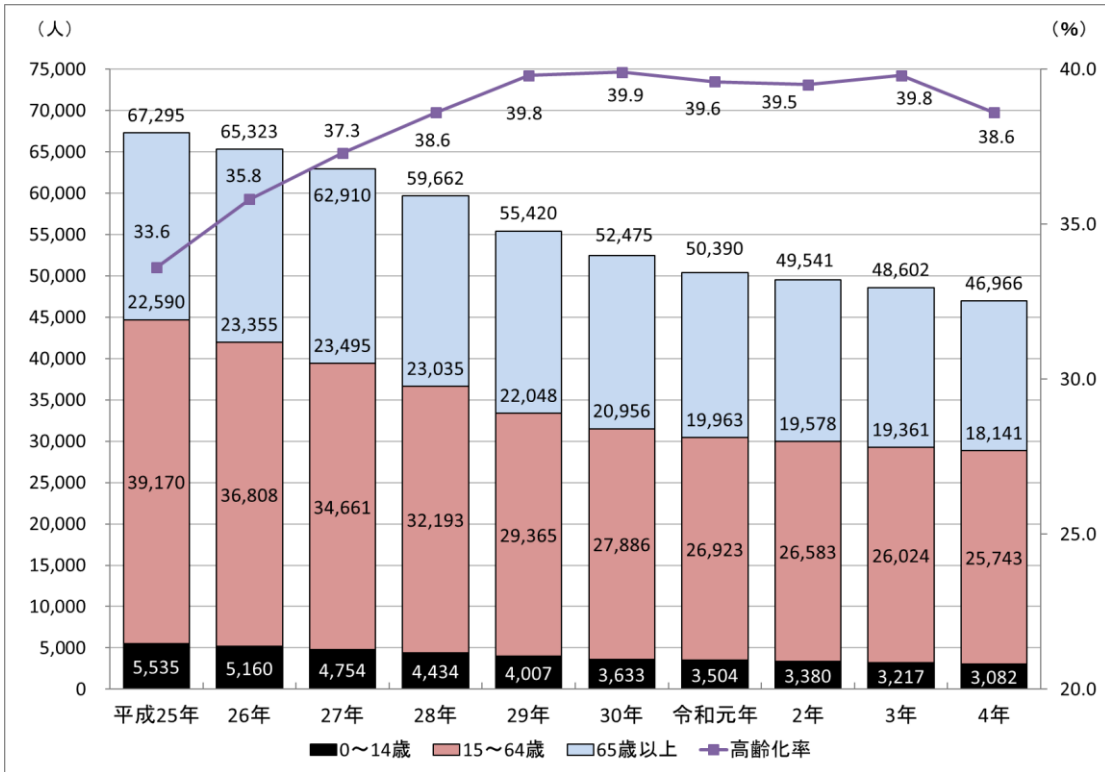
- ・ 日本の総人口に占める65歳以上人口の割合(高齢化率)は年々増加し、令和5年には29.1%(総務省「人口統計」/令和5年9月15日現在)と過去最高となり、これは世界でもトップの水準になっています。
- ・ 本市の高齢化率は、全国値よりは低いものの、同様に増加傾向にありましたが、平成30年度以降は横ばいが続いています。
- ・ 本市国保被保険者数は、後期高齢者医療制度や社会保険への移行等により、年々減少しています。
- ・ 本市国保被保険者の高齢化率は、令和4年は前年と比較し1.2ポイント減少しました。

【図表2-4】 年齢3階層別の人口及び高齢化率の推移



資料:大和市住民基本台帳(各年9月末日現在)

【図表2-5】 年齢3階層別の国保被保険者数及び高齢化率の推移



資料：厚生労働省保険局「国民健康保険実態調査」及び
大和市市民経済部保険年金課資料「年齢別男女別被保険者数調」
(各年9月末日現在)

3. 平均寿命・標準化死亡比等

(1) 平均寿命

- ・ 本市の平均寿命は、全国と同一ですが、神奈川県と比較すると男性が0.5ポイント、女性が0.3ポイント、ともに短くなっています。

【図表2-6】 男女別平均寿命

		大和市	神奈川県	全国
平均寿命(年)	男性	81.5	82.0	81.5
	女性	87.6	87.9	87.6

資料:厚生労働省「令和2年市区町村別生命表の概況」

(2) 主要死因別標準化死亡比

- ・ 主要死因別標準化死亡比(平成25年～平成29年平均)は、国の水準を100としたときに神奈川県と比較すると、心不全の割合が男性5.7ポイント、女性17.6ポイント、ともに高くなっています。
- ・ 加えて、男性は肺炎が27.0ポイント、女性は肝疾患が18.5ポイントと、それぞれ本市が高い水準にあります。

【図表2-7】 主要死因別標準化死亡比(平成25年～平成29年平均) ※全国=100を基準
(男性) (女性)

	大和市	神奈川県
悪性新生物	101.0	97.2
急性心筋梗塞	90.0	98.2
心不全	148.0	142.3
脳内出血	104.4	101.8
脳梗塞	91.4	88.8
肺炎	115.6	88.6
肝疾患	107.4	120.7
腎不全	80.0	78.7
老衰	112.4	122.7
不慮の事故	91.8	101.1
自殺	95.8	85.6

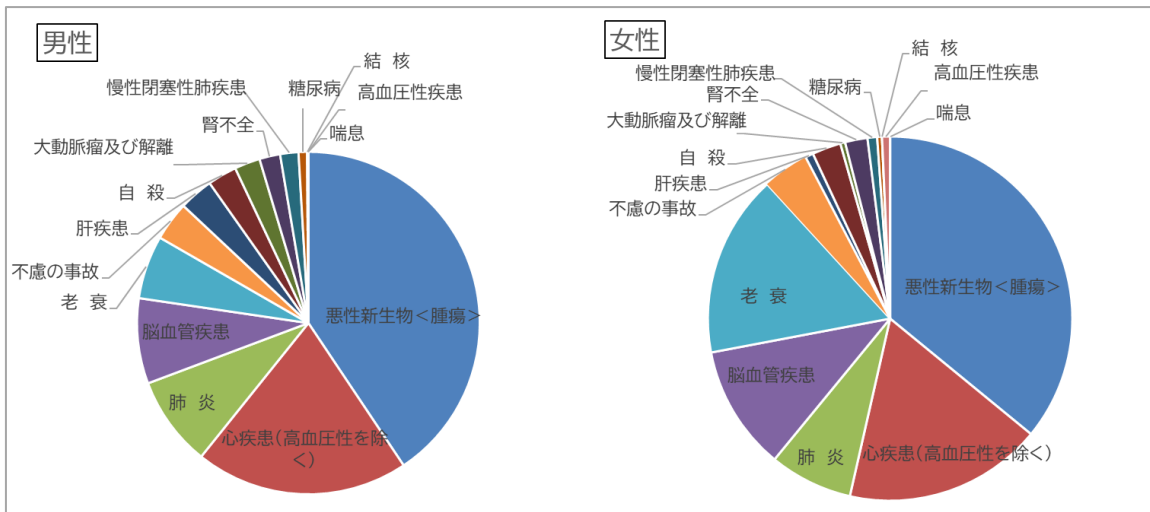
	大和市	神奈川県
悪性新生物	101.4	100.2
急性心筋梗塞	80.4	78.6
心不全	124.5	106.9
脳内出血	99.7	100.2
脳梗塞	89.0	87.8
肺炎	100.7	87.6
肝疾患	112.1	93.6
腎不全	78.5	77.4
老衰	118.3	122.5
不慮の事故	104.1	115.8
自殺	97.7	96.1

資料:厚生労働省「平成25年～平成29年人口動態保健所・市区町村別統計」

(3)主要死因別死亡割合

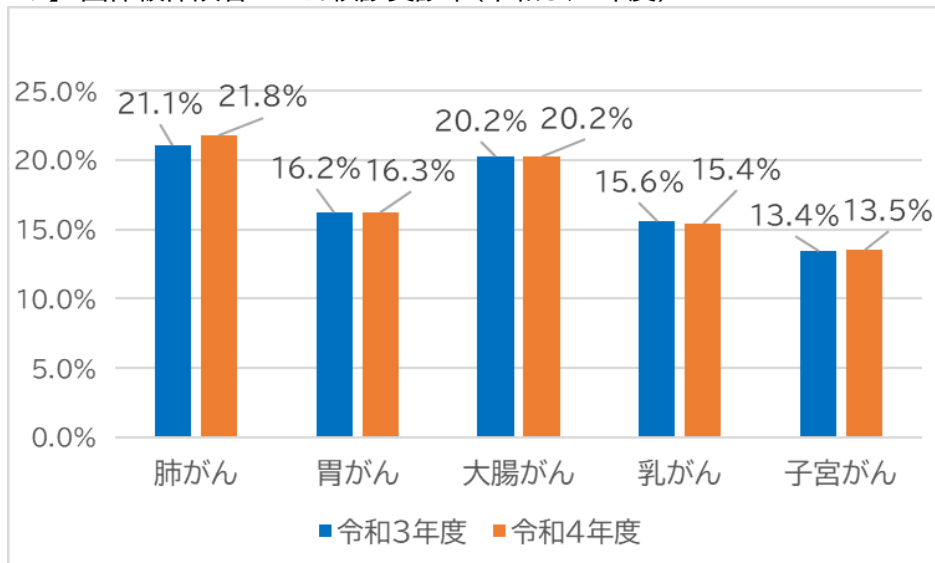
- ・ 主要死因別死亡割合より、本市における死因は、男女ともに第1位は「悪性新生物（腫瘍）」、第2位は「心疾患（高血圧性を除く）」で全体の半数以上を占めています。
- ・ 第3位以降は、男性は肺炎、脳血管疾患、老衰と続くのに対し、女性は老衰、脳血管疾患、肺炎となっており、老衰の割合は男女で比較すると2倍以上の差があります。
- ・ なお、市のがん検診事業において、年度を通して国保に加入している者のがん検診受診率は1～2割程度であり、本市における死因の約3割を占めるがんの早期発見のためにも、がん検診受診率を向上させる必要があります。

【図表2-8】 主要死因別死亡割合(令和2年度)



資料:神奈川県「令和2年神奈川県衛生統計年報統計表(第1部 人口、平均余命、人口動態調査)」

【図表2-9】 国保被保険者のがん検診受診率(令和3、4年度)



資料:大和市健康福祉部医療健診課資料「がん検診受診状況」